

球際の強さと正確な右足で上昇気流に乗せる

9位東京V
今日VS水戸



M/F 中後 雅喜

プレー経験豊富
35歳のベテラン

6月25日の町田との20節

「TOKYO CLASSIC」まらず0-4と大敗した。後C」では4-2と快勝した東京V。上昇気流に乗りたいたく戦(9日)も先制を許す展開月。ここまで2敗2分けで9位に後退。足踏みが続いている。

21節のアウエー熊本戦(1日)は前線からのプレスがは



©Jリーグフォト

今季はケガの連続に苦しむ中後だが、1日のリーグから復帰。22日の調岐戦では得点を挙げベテランの顔ぶれを見せた

(16日)は相手のボールキープに苦しみ、好機に決めることもできなかった。後半に失点し、0-2で敗退した。

苦しい戦いが続くと、MF中後雅喜(35)がボランチで先発出場。続く24節のホーム調岐戦(22日)でも先発し、1-2の後半17分には自らのFKの跳ね返りを右足で決め同点とした。

今季は開幕直後に左太ももを痛め、4月に復帰も5月に再びふくらはぎの肉離れで離脱。リーグ戦は熊本戦から復帰したばかりだった。ゴールは狙い通り。まずは試合に出ること。結果を

6位・名古屋との勝ち点差「1」 昇格PO出場も射程圏内

同戦では新外国人FWカルロス・マルティネス(31)もデビューしたがシュート2本で無得点に終わった。連係はこれから。J1復帰を目指し、昇格プレーオフ出場圏の6位以内は至上命題。6位・名古屋との勝ち点差はわずかに1とJ2戦線は混戦の様相を呈している。望みはある。きょう29日のアウエー水戸戦は、負けられない。

(次回は8月27日掲載)